



環境の中の人の行為・動作

～リハビリテーションの新天地を求めて～

《日時》4月19日(日) 10:00～16:00 (受付開始9:00)

《会場》藤田保健衛生大学500人ホール

《会費》3000円(事前申し込み不要 当日直接会場へお越し下さい)

《対象》特に規定はありませんので、どなたでもご参加ください

《お問い合わせ》ecological.reha@gmail.com

～本研修会の趣旨～

障害からの復帰は新たな生命の誕生に似て、新しい身体を媒体とした運動学習のように感じる。その過程が滞りなくまた適切に歩んでいける手助けを生業とするのがリハビリテーションセラピストである。だからセラピストが人の行為や動作がどのようなものなのかを知ることは極めて重要であると考え。今回4名の講師を招き、人の行為と動作について各分野から話していただく。今後のリハビリテーションにおける新しい視点に気づける研修会になると期待している。

生態心理学

三嶋博之 准教授

早稲田大学人間科学学術院

<著書>

エコロジカル・マインド

生態学的知覚システム—感性をとらえなおす など



神経生理学

木村晃久 准教授

和歌

山県

立医

科大学

生理学第一講座

<論文>

視床—視床網様核—大脳皮質のルー



細胞生物学

跡見順子 教授

東京農工大学材料健康科学寄附講座

<著書>

骨格筋と運動(身体運動・栄養・健康の生命科学Q&A) など



リハビリテーション学

富田昌夫 客員教授

藤田保健衛生大学医療科学部

<著書>

ステップス・トゥ・フォロー パーセプション—発達の根源から言語の発見まで など

